

2017年2月15日(水) ハコラク3月号 掲載

医療の現場から『助産師～女性のライフサイクルをサポートする職業～』

周産期センター 上野 直美 副看護師長(助産師)

医療の現場から

助産師

～女性のライフサイクルをサポートする職業～

函館中央病院

副看護師長 助産師

上野 直美さん



助産師の仕事というと、どんなイメージがありますか? 「お産を介助し、赤ちゃんを取り上げる」以外思いつかないのではないのでしょうか。助産師は分娩の介助だけでなく、妊婦の健康管理の指導、出産後の体調管理、母乳指導、乳児指導など妊娠から出産、育児に至るまで、母子の健康を守るための管理・指導活動や若年層への性教育指導、成人への家族計画指導なども行う、女性のライフサイクルをサポートする職業です。また、分娩も正常分娩であれば医師の指示を必要とせず、自身の判断で分娩介助ができます。病院で働くことも自分で助産所を開設することもできます。

少子化により一見、助産師の活躍の場は減っていると思われるかもしれませんが、しかし一方で産科医の減少から、助産師が医師に代わって妊婦の健診・指導を行う「助産師外来」や助産師が中心となって分娩を介助する「院内助産」が注目されています。現在日本には約3万4千人、北海道には約1600人の就業助産師があり、一人一人のスキルもさまざまです。そこで日本看護協会が、アドバンス助産師[®] 認証を開始しました。アドバンス助産師とは、日本助産評価機構など助産関連5団体が創設した「助産師実践能力習熟度段階レベルⅢ認証制度」をもとにした客観的評価で、自立して助産ケアを提供できるスキルを持つと認証された助産師で、平成27年度から始まりました。認証を受けるには、分娩介助100例以上、妊娠健診200例以上、学会参加や研修受講など16項目の要件をクリアする必要があります。経験を要するため、就業5～7年以上の助産師を想定しています。アドバンス助産師の誕生は助産師個人にとっても価値のあることです。が、第一に妊婦さん、お母さんと新生児、ご家族に、より安全で安心な助産ケアを提供することができることを示すための認証なのです。



函館中央病院

函館市本町33-2 ☎0138-52-1231(代) <http://www.chubyo.com/>

- 診療科目 / 内科、消化器内科、腫瘍内科、循環器内科、小児科、外科、整形外科、形成外科、心臓血管外科、皮膚科、産婦人科、耳鼻咽喉科、歯科口腔外科など全24科目
- 受付時間 / 8:30～11:30、13:30～16:00 ※土曜は午前のみ。診療科や時間帯によっては要予約。
- 休診日 / 日曜・祝日・年末年始・開院記念日(6月第1水曜)